

# ながの労福協

〈ライフサポートセンター〉

第235号 2006年6月1日

長野県労働者福祉協議会  
〒380-8710  
長野市立町978-2 労済会館内  
TEL026-232-6667 FAX026-232-6672  
E-mail n-rofuku@athena.ocn.ne.jp  
http://nagano.rofuku.net/  
発行人 近藤 光  
編集人 青木 正照



新役員を代表して、近藤理事長の挨拶

## 第47回定期総会 住み良い地域づくりをめざして 生活安心ネットワーク事業の推進!!

県労福協は、5月26日第47回定期総会を長野市サンパルテ山上で開催しました。総会には、代議員40名をはじめ、来賓、役員合わせ約60名が出席。初めに、県高齢者・退職者連合の新たな加盟報告、続いて2005年度活動・決算・監査報告、2006年度活動方針・予算案の決定、役員改選が行われました。

総会は、鯉川副理事長の開会挨拶の後、議長に連合長野の小林代議員を選出し、議事が進められました。

冒頭、近藤理事長からは「新たに高齢・退職者連合が加盟した事で現役世代と退職者が一体となった、職域を中心としながら地域の幅広い運動が展開できる…」と挨拶。

また、来賓では、長野労働局伊藤局長、県社会部石田労働福祉チームリーダーから挨拶を頂きました。

議事では、原田専務理事から活動報告・決算報告がされ、いずれも報告どおり承認されました。

また、昨年9月「県高齢者・退職者連合（約一万三千人）」から、加盟申請書が提出された旨の報告を本総会で承認されました。

続いて、青木副理事長から2006年度活動方針が提案されました。質議では、各地区労福協からは、地域活性化委員会報告についての意見や質問が多く出されましたが、今後の取り組みの中で成果が出るように頑張っていくことを確認し、採決の結果、満場一致で承認されました。

役員改選では、近藤理事長が再選され、また、三役では2002年から2期4年にわたって専務理事として活躍された原田美登氏が退任され、新たに青木正照氏（連合長野顧問）が専務理事に選出、承認されました。（役員体制は二頁）

### 2006年度活動方針決定

具体的な主要方針は次のとおりです。

「生活あんしんネットワーク」（ワンストップサービス）事業の取り組み

勤労県民を取り巻く社会・経済・雇用環境は、依然として先行き不透明で明るい展望が開けません。このような中、勤労者が結束して現状を打破し、活力ある福祉社会を作るために県労福協は、労働団体・労働者福祉事業団体・NPOなどと連携し相互の力を集め、「助け合い」や「協働・連帯」を原点到、生活の場・地域に福祉のセーフティネットを張り巡らせます。

県労福協の呼称を「ライフサポートセンター」（LSC）とします。

「長野県労働者福祉協議会」の正式名称は変更しませんが、広く勤労県民への呼称として「労福協」ライフサポートセンター」を使用し、地区労福協においても「○○地区ライフサポートセンター」の二枚看板（「インの裏表的扱い」とし、活動目的に応じて使い分け、「勤労者の暮らしにかかわるサポート事業」の取り組みを展開します。

労働団体と福祉事業団体及び市民団体等の連携強化

労働団体と福祉事業団体、また福祉事業団体相互の対話と協力によって「協働化」の促進に努め、県内における職域と地域の自

2006~2007年度役員

役職名	氏名	選出	団体
理事長	近藤 光	連合	長野県
副理事長	鰐川 晴夫	労働	金庫
副理事長	伊藤 晃二	全労	済野
専務理事	青木 正照	連合	長野
理事	林 憲治		"
"	竹沢 昭彦		"
"	喜多 英之	県労	組合
"	菅田 敏夫	県労	連合
"	市川 隆司	労働	金庫
"	川崎 宇喜夫	全労	済野
"	小松 由人	生協	連合
"	北原 進司	住宅	生協
"	滝沢 広重	労働	基金
"	三井 正二	県勤	労協
"	大井 友夫	県高	齢退職者連合
北信・東信・中信・南信各ブロック代表			
会計監査	竹内 秀一	労働	金庫
"	酒井 保	全労	済野

地区労福協の活性化に向けて

地区労福協の活動を活性化するために

国はもとより地方自治体においては、市民参加による民間団体への事業委託方式が多くなっています。

これらの事業委託を受けるには、法人格(公益・NPO)などを有することが必要条件であり、県労福協も今後の「生活あんしんネットワーク事業」を推進するにあたり、特定非営利活動法人(NPO)の資格取得を検討します。

県労福協の法人格取得について

主福祉運動の充実・発展のために役割りを果たし、労働者福祉運動の活動領域を広め、市民団体(NPO)と連携して助け合いとボランティア活動の支援に取り組みます。

会に名称変更し、参加チームの拡大を目指す。

長野県勤労者体育大会の取り組み

昨年、労組体育大会から勤労者体育大会に名称変更し、参加チームの拡大を目指す。

くらしなんでも相談

県労福協としては意欲的な活動を展開する地区労福協には、それに見合った財源配分の助成措置をとりまします。

事務局体制の強化として、実務とオルガナイザー的な役割りを担う意欲的な人材を、各地区労福協に配置できる体制をとります。当面は、モデルとされる地区労福協から対応します。

ほっとダイヤルの充実

現行の月一回(第2土曜日)開催頻度を増やすため、地区労福協での試行的取り組みを検討し相談事業の充実を計ります。

子育て・介護サポートの取り組み

指しましたが、初年度という事もあり成果はあげられませんでした。また、一昨年度から県の補助金がカットされ財政的にも厳しい中で運営してきました。今年度の大会も踏まえ検討委員会を設置し、今後のあり方について、今年中には方向付けを行います。

少子化が進行する中で、安心して子育てと介護のできる環境と地域社会を作り上げる必要があります。自治体の対応や関係団体を調査し、県地域労使就職支援機構と共同で子育てと介護のためのガイドブックを作成しました。利用拡大を図る為に、県労福協が中心となり、より多くの関係団体と連携をとる中で、支援体制の更なる充実に向けた取り組みを進めていきます。

2006年

体育大会の開催決まる 大会への参加を要請

2006年度県勤労者体育大会については次のとおり実施します。各労組の積極的な参加をお願いします。

種目別実施日及び会場

- ①バレーボール(男・女)9月16日(土)  
長野市ホワイティング
- ②テニス(男・女)9月24日(日)  
東和田運動公園テニスコート
- ③バドミントン(男・女)9月16日(土)  
東和田運動公園総合体育館
- ④卓球(男・女)9月16日(土)  
東和田運動公園総合体育館
- ⑤野球10月14日(土)  
オリンピックスタジアム  
県営長野球場  
10月15日  
オリンピックスタジアム

詳細は、各地区実行委員会又は、県実行委員会(県労福協内TEL026-232-6667)までお問い合わせ下さい。

子育て・介護応援ガイドブック作成

第6回ファミリースポーツサポート検討委員会「応援ガイドブック」の検討と学習会

5月11日、第6回ファミリースポーツサポート検討委員会を「子育て・介護ガイドブック作成委員会(労使就職支援機構)」と合同で開催。『子育て・介護応援ガイドブック』発行前の最後の会議となることを受け、ガイドブックの内容の検討が行われ、各委員より積極的な意見が出されました。ガイドブックは労福協の「勤労者福祉の向上」と労使就職支援機構の「求職者支援」の立場から、タイトルを「働きたい・働く人の子育て・介護応援ガイドブック」とし、子育て・介護をしていく人に対し、保育園・幼稚園、一時預かり、高齢者・障害者介護、ファミリースポーツセンター事業等の解説や、子育て・介護支援を行っている市町村役場窓口、NPO等のボランティア団体情報を掲載します。ガイドブックは、使う人が「最初のドアをノックするため」

まず電話をかけるところ、に視点を絞り、複雑になりすぎず、イラストを多数入れ、簡潔で使いやすさを追求しました。



# くらし・なんでも相談より 圧倒的に多い多重債務の事例

2004年12月より毎月1回開催している、くらしなんでも相談ほっとダイヤルは本年5月で18回目を迎え、多岐にわたる相談が寄せられています。そこで皆さんのトラブル解決の一助として、寄せられた相談内容を紹介いたします。

第一回は、これまでに寄せられた相談382件のうち54件、全体の14%を占め、最多となっている多重債務に関する相談です。

## 【相談①】(女性)

数年前、生活費や家族の入院費のためクレジット会社からお金を借り、現在4社250万円になっている。自分も働き、毎月最大5万円返済していきたいが…。

## 【解答①】(田中善助弁護士)

毎月5万返済しても、4年以上かかる。本件は自己破産して一挙に整理することが良いのではないか。また委任整理や特定調停という手続きがある。弁護士に依頼するには法律扶助協会を利用したらどうか。

法律扶助協会とは、財政的な理由から弁護士・司法書士に依頼できない人のために、弁護士等を紹介し弁護士費用等を立て替え払いをしてくれます。立て替え払いですので、最終的には依頼者が負担することになります。支払免除の制度もあります。

なお、本年10月1日から法律扶助協会の事業は、日本司法支援センター(通称J法テラス)に引き継がれます。

## 【説明①】

債務整理の方法として「自己破産」「任意整理」「特定調停」「個人民事再生手続き」などがあります。法律の専門家に相談して、自分にあった債務整理を考えましょう。

## 【相談②】(男性)

妻がクレジットで5社から170万円を借りている。今回が初めてではなく、過去にも数回ある。何とか妻がクレジットで借り入れできないようにすることは出来ないか。

## 【解答②】(田中善助弁護士)

自己破産すれば、ブラックリストに名前が載り、金融機関は貸し出しを止めると思う。クレジット会社に不払いすれば、その時点でリストに名前が載る。クレジット協会に事情を話し貸さないよう申し出は出来るが、夫の申し

出で受け入れてくれるかは不明。夫が変わって精算することは止めること。

## 【説明②】

自己破産とは、債務者自身が裁判所に申し立てて破産手続開始決定を受けることで、どうしても返済できなくなった人に再出発の機会を与える最後の救済手段です。



労福協の  
くらし・なんでも相談  
**ほっとダイヤル**

弁護士・司法書士・社会保険労務士・就職相談員の専門家の  
方々が様々な相談を無料でお受けいたします。

**毎月第2土曜日 10:00~16:00**

相談はフリーダイヤル  
0120-39-6029

## 長野労働局中村総務部長を囲んで 少子化社会対策について 学習会

委員会はガイドブック検討後、長野労働局より中村総務部長を講師に招き労働局の「子育て・介護支援の取り組み」について学習会を行った。

中村部長は日本の急激な少子高齢化の現状と、少子化社会対策について政府の取り組みを説明。少子高齢化が及ぼす影響として、2015年には労働力人口が90万人減少、深刻な労働力不足が懸念される中、21世紀職業財団が行っている「仕事と育児・介護両立支援」について紹介した。

また「子育て・介護応援ガイドブック」の発行は、少子高齢化による労働力不足に対し、女性等の潜在的労働力発掘に大変役立つ取り組みであると、社会の問題に対し迅速且つ積極的にその解決に力をそそぐ委員会の取り組みに対し感謝の言葉を述べられました。



少子高齢化の現状と対策について  
中村総務部長

# 労働組合の重要性は

## 過半数が認識!

### 「守旧的」指導者中心的「労組のイメージ」

県労福協と長野県世論調査協会は、「県民の暮らしの設計」に関して、初の共同調査を本年1月～3月に行った。

この調査の目的は、県内経済は「足踏み状態から脱した」とされる反面で雇用、老後など暮らしの先行きに不安感を払拭できないでいる。そうした中で、県民が日ごろ消費や生活設計の面でのどのように考え、行動しているのか、幅広く動向を探り、望ましいライフスタイルを見出す指針を得ることであった。

又、県民の暮らしを守るうえで、労働組合の役割や、労働者福祉活動の関わりについて県民の意識を問いたいとのネライもあった。

本号では紙面の制約から調査結果の一部を紹介するに止めた。詳細は県労福協のホームページをご覧ください。

調査に当っては、対象を県内成人男女一千名(無作為抽出)。調査方法は郵送。回収結果は、有効回収数504名(50.4%)、男性220名、女性284名であった。

尚、今回の調査報告の取りまとめには、

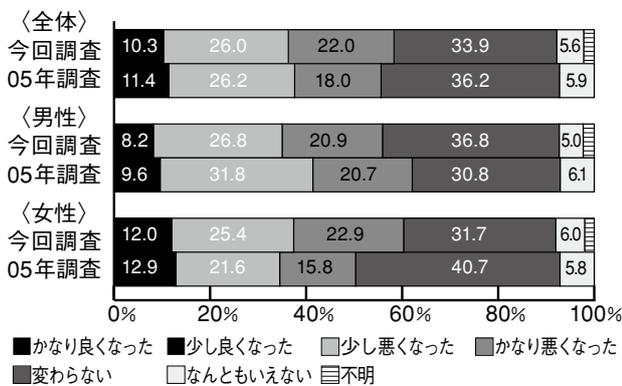
県世論調査協会がこれまで実施した、県民世論の動向と比較対象するため、「より良き人生の完結に」(2003年)、「自立のライフスタイル」(2005年)の調査データを用いている。

### 生活の下降感は半数近く

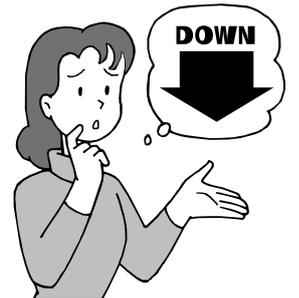
#### 暮らし向きの変化

ここ数年の暮らし向きについて、1割

◆暮らし向きの変化～05年調査との比較



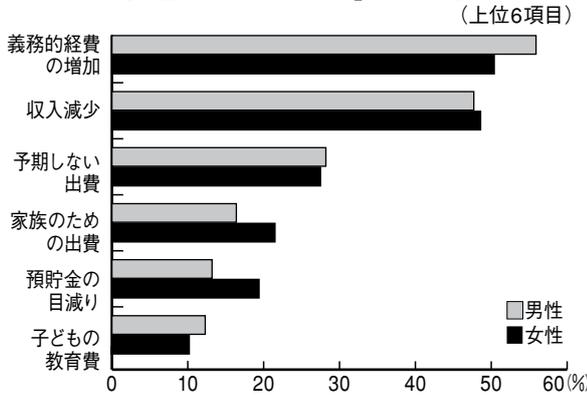
強が「良くなった」としているが、半数近くは「悪くなった」と感じている。生活の



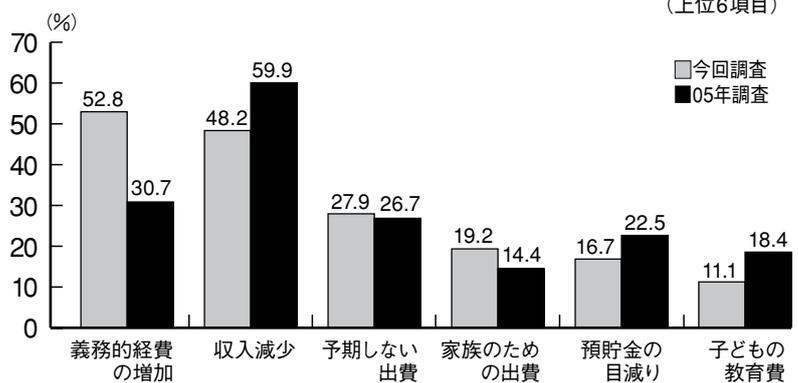
### 将来不安—性別で中身に違いも

向上感女性に僅かながら強めに現れた。2005年の調査と比べると、下降感男性でやや緩和されたものの、女性は10ポイントあまり比率を上げている。また、生活上向上感30代みると3割強であったが、今回調査ではほんの数%にまで減少した。

◆「経済面での将来不安」の男女比較



◆05年調査との比較



経済的な面での将来不安をめぐっては、「税金、各種保険料などの義務的経費の増加」が首位で、半数強が挙げている。これに「給与や売上げなど収入の減少」が僅差で続いた。3位は「病気、ケガなど予期しない出費」。男性はおもに「義務的経費…」を、女性は「介護など家族のための出費」と「預貯金の目減り」にも不安を感じている。

2005年の調査では、上位は「収入の減少」、2位「社会的経費の増加」、3位「予期しない出費」だった。

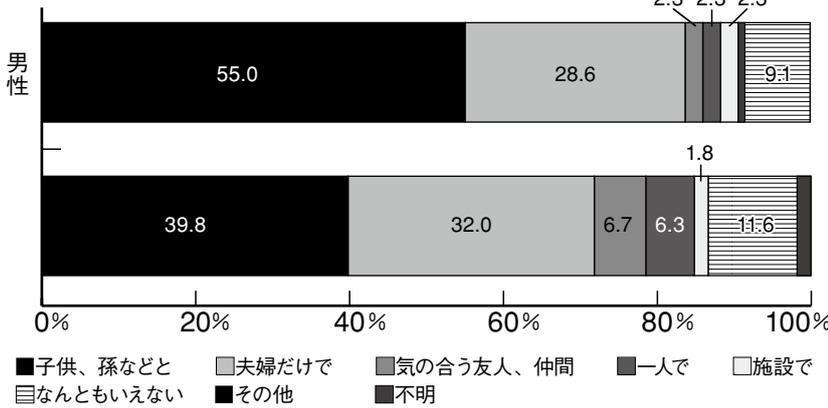
「老後は肉親と」男性に強め

老後は「子ども、孫などと過ごしたい」と4割台半ばまで

が思っており、男性にこの傾向が強い。2位の「夫婦だけで」は3割だった。この2項目だけで老後を共に過ごしたい相手の選択肢は尽きた形だ。2003年の調査でもほぼ同様の結果が出ている。

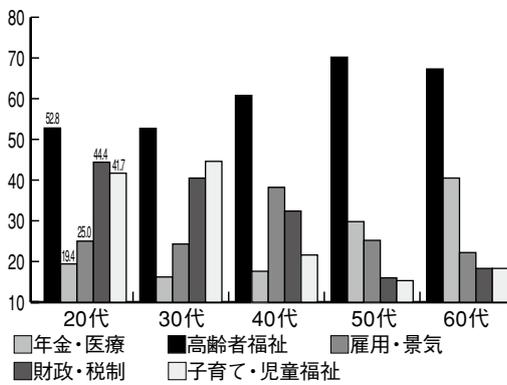


◆老後を誰と過ごしたいか?



■子供、孫などと ■夫婦だけで ■気の合う友人、仲間 ■一人で ■施設で ■なんともいえない ■その他 ■不明

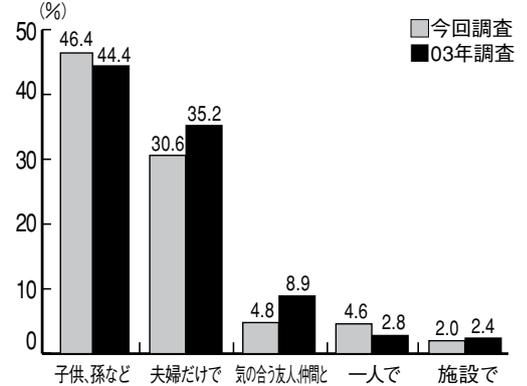
◆組合に取り組んでほしい分野



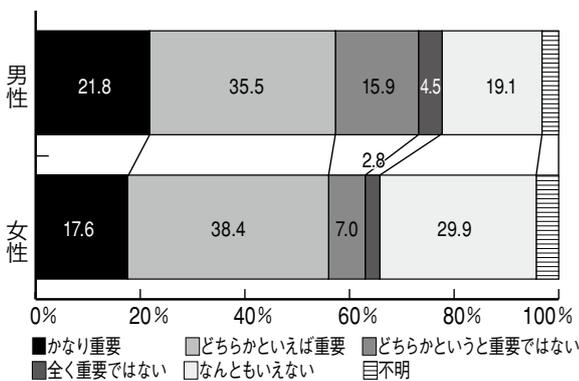
■年金・医療 ■高齢者福祉 ■雇用・景気 ■財政・税制 ■子育て・児童福祉

期待する分野 「賃金、福利厚生」を求める 労働組合が企業や働く場で取り組んで欲しい課題としては「賃金や福利厚生の改善」がトップで、「労働環境の向上、安全」が続いた。女性は「従業員の意見反

◆03年調査との比較



◆労働組合の役割

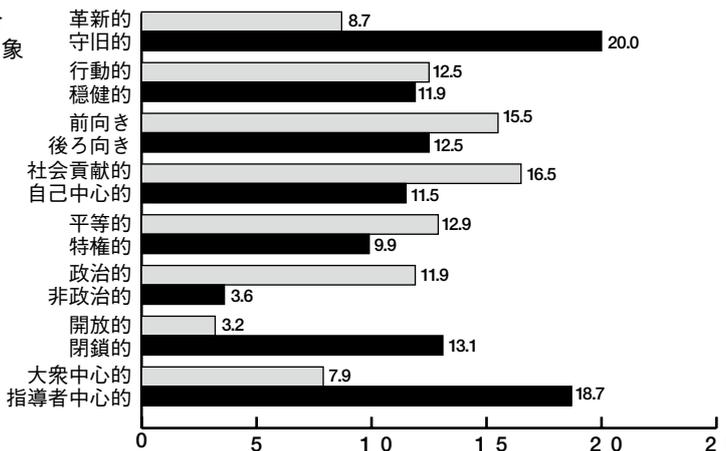


■かなり重要 ■どちらかといえば重要 ■どちらかという重要ではない ■全く重要ではない ■なんともいえない ■不明

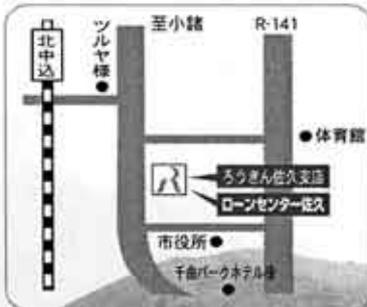
労働組合に対する評価と期待で「役割や活動を」「重要」と過半数 労働組合の役割や活動を「重要だ」と過半数が受けとめている。しかし、男性は積極評価型とやや冷えた見方が2割の線と並んでいる。女性の3割は「なんともいえない」と答えた。「重要とは思わない」の比率が北信で2割近くあるのがやや目立っている。

「年金、医療」が飛び抜けて高い比率を示した。この傾向は各年代とも強く望んでいるが、50代は特に高い比率を示した。20代、30代は「財政、税制」「子育て・児童福祉」を、40代は「雇用、景気」にも取り組んで欲しいと思っている。

◆労働組合活動の印象



労働組合の印象は「守旧的」「指導者中心」「やや多め」 労働組合運動についての日頃の印象として、「守旧的」「指導者中心」のほか「社会貢献的」「前向き」がやや多めだった。少なかったのは「開放的」と「非政治的」だった。 又、「特にない、なんともいえない」の比率がやや高く目立つ。



『形』に……。あなたの思いを

ご相談いただける  
時間がより便利に

# 6/2金OPEN

ろうきんローンセンター佐久 (佐久支店内に併設)

ローンについてのあらゆるご質問に経験豊かなスタッフが対応致します。

ローンセンター佐久の 営業時間	●月～金曜日 9:00～18:00 ●土曜日 10:00～17:00 ※定休日(日曜日・祝日)
--------------------	---

ろうきんローンセンター佐久  
〒385-0065 佐久市中央3123-2  
TEL.(0267)62-9591  
FAX(0267)63-0650

「ろうきんローンセンター佐久(佐久支店内に併設)」が、ローンセンター長野・ローンセンター松本・ローンセンター上田・ローンセンター伊北・ローンセンター稲里に続く6店舗目のローン専門店として6月2日にオープンしました。

勤労者の利便性向上のため、仕事帰り

にも相談ができるように、平日は午後6時まで、また、お休みの日にもゆつくり・じっくりと相談ができるように土曜日も営業をします。

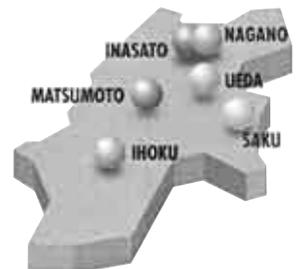
住宅の資金計画・車の購入資金・お子様の教育費用の相談など気軽に利用してみましよう！

6月2日OPEN!!

# ローンセンター佐久

**各ローンセンターは毎週土曜日営業中！**  
**ローンセンター長野・上田・松本は日・祝日も営業中!!**

	営業時間
長野・上田・松本	●月・火・木・金曜日 10:00～18:00 ●土・日曜日・祝日 10:00～17:00 ●毎週土・日曜日・祝日営業 ※水曜日・12月31日～1月3日は休み
稲里・佐久・伊北	●月～金曜日 9:00～18:00 ●土曜日 10:00～17:00 ●毎週土曜日営業 ※日曜日・祝日、12月31日～1月3日は休み



あらゆるローンの相談に経験豊かな専門スタッフが対応致します。



新築も借換えも  
今がチャンス!  
ろうきん住宅ローン

# ろうきん住宅ローン 特別金利キャンペーン

好評受付中

# 悪質な住宅リフォーム工事

目的を隠して近づき 高額な契約を急がせる

## その1 屋根工事



- 悪質業者は、雨どいの清掃などと言って住宅リフォーム工事の勧誘であることを隠して近づきます。
- 直に工事しないと危険であるなどと不安をあおって高い契約をさせる手口は悪質業者の常套手段です。
- 高額な工事では、2~3社から見積もりを取って比較すると妥当な工事費がわかります。

## その2 床下換気扇、除湿剤



- 不意に訪れて、簡単に見られないところを点検する業者に注意。
- 「配水管の清掃サービス」などは、家の上がりこむための口実です。
- 本当に工事が必要かどうか、知り合いや地元の工務店に相談しましょう。
- 言いなりになって契約すると、屋根工事、外壁工事、風呂工事と次々に契約させられることもあります。

## 住まいの健康維持から快適空間の演出までトータルプロデュース

### 住宅生協リフォームサポートで快適生活しませんか？

思い出深い我が家に手入れを加えながら、大事に住みたいというニーズが高まっています。

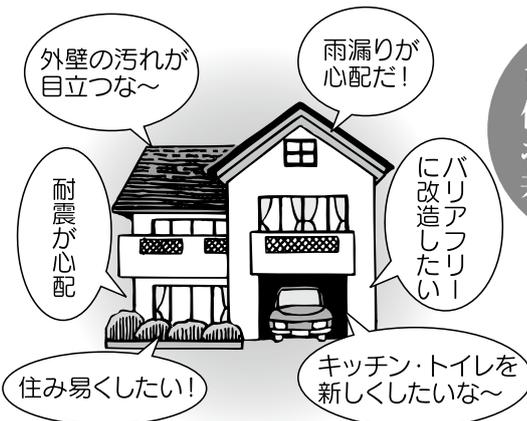
相談先がわからない

業者は信頼できるか

費用は適正だろうか

などの不安や心配をしている勤労者の皆様方の要望に応える為に

**安心、安全、良質、で低廉な事業提供** をモットーに実施しています。



リフォームは住宅生協とお客様との共同作業です

県下の労働団体、労働者福祉団体が中心になって設立された長野県住宅生協の物件・事業は、多くの実績が示す「安心と信頼」に支えられています。



**長野県住宅生協**  
(正式名称：長野県労働者住宅生活協同組合)

長野市県町523ろうきんビル7階  
TEL (026) 234-0283 / FAX (026) 234-0271

**0120-709-406**

地区労福協からの活動報告

佐久地区労福協設立総会

地域に根ざした労福協活動の展開

4月18日(火)佐久勤労者福祉センターにおいて佐久地区労福協の設立総会が開催されました。昨年より地域勤労者の福利厚生向上を図るため、各労働団体・労働福祉団体と設立準備を進め、この度、設立総会と設立レセプションを盛大に開催しました。



当口は県労福協より近藤理事長、青木副理事長、原田専務をはじめ、労働団体・労働福祉団体等より多数のご来賓の方々に参列を賜り、佐久地区労福協の船出を祝っていただくとともに、代議員により2006年度の活動方針・予算並びに役員体制

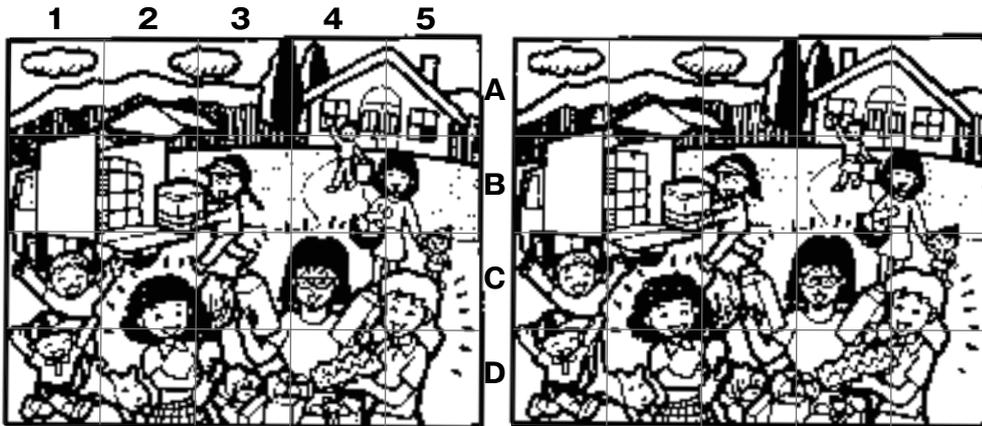
(会長 三好雅彦、副会長3名 清水清利、下平真介、西沢裕二、事務局長 松崎繁) について、全会一致で承認され佐久地区労福協がスタートしました。

設立にあたっては、県労福協の指導・支援のもと、「人と暮らし、環境に優しい福祉社会の実現」を基本に、自主福祉活動のネットワークにより未組織勤労者や高齢者も含めすべての働く人々や家族の暮らしの安心と幸せづくりをめざして活動を進めることを目的に、連合長野佐久地協、佐久地区労組会議、佐久地区評議会の労働団体と地域の労金・全労済で約1年近く十分な検討を重ね、昨年10月に準備委員会を立ち上げ、佐久市・小諸市にも支援協力を得て、設立に向けて協議してきました。

佐久・小諸地区労福協としては、佐久地域の組織・未組織勤労者の福利向上のため、やるべき課題は多いですが、着実に一つ一つのことに取り組みしっかりと足場を固め、地域に根ざした活動を推進して行きます。

9つのまちがいらがし

左に並んだ二枚の絵を見比べて違っている箇所を9つ探して下さい。(例:4Dの玉子パックの数) 日頃使わない脳への刺激になるかと思えます。



プレゼントの応募方法

- 官製はがきに答えを書いて県労福協へ(宛先は表紙にあります。)
- 労福協の機関誌に対する意見要望を何か一言。
- 住所氏名年齢性別所属団体(単組名)を忘れず。
- 正解者の中から抽選で5名の方に図書カード(千円分)をプレゼント。
- 締切り 6月30日

1	ア	ネ	2	ハ	3	ス	4	イ	5	ト
6	ラ	ル	7	カ	8	ス	9	バ	10	シ
11	ワ	カ	12	ス	13	シ	14	サ	15	ダ
16	ア	ミ	17	カ	18	タ	19	ン	20	ト
21	コ	シ	22	ラ	23	タ	24	ウ	25	イ
26	コ	ア	27	ラ	28	タ	29	ウ	30	カ
31	ア	ト	32	フ	33	キ	34	ラ	35	ト

前回の正解は「春はまだかい」

当選者(1名・敬称略) 小口 誠(岡谷市)

山なみ

県労福協2006年度は「生活あんしんネットワーク」ライフサポートセンター」と銘打って、新たなスタートをいたしました。原田前専務が、未来に夢馳せて描いた構想をいよいよ現実のものにして行かなくてはならない。今、身の引き締まる思いで事業に取り組んでいます。

さて、今通常国会でも多くの重要法案が審議されています。教育基本法の改正案もその一つですが、果たして法律で愛国心を養えるものでしょうか。

増税・福祉の引き下げなど、政府の進める行政改革は、豊かになったこの国を、勝ち組と負け組に分け、その格差は拡大し、こつこつ働く労働者の汗が報われにくい社会になろうとしています。大人たちが自らの将来に大きな不安を抱える社会に、子どもたちが夢や希望を持てはなりません。

労働者福祉運動の原点は、個別企業の枠を超え、「地域で働き、地域で暮らす勤労者が安心して暮らせる社会を作る」ことにあります。

人と人の繋がりがますます薄れていく今の社会だからこそ、決して失ってはならないものを、それは相互扶助の精神だと思えます。労福協の活動で勤労者の安心を取り戻し、希望ある社会に生きる喜びを子どもたちにも伝えたい。そんな大きな夢を皆さんと共に実現したいと思えます。

(青)